

いとう眼科と 白内障

現在多くの施設で白内障手術を受けられるようになりました。ただ、実際に患者様が白内障の手術をしようと思った時、何を基準に病院を選んだらいいのかわからない事も多いと思います。
今回は、白内障手術を選ぶ際に知っておいた方がいい事を3人のスタッフに聞いてみました。

私達眼科の人間は白内障の事をよく知っているのですが、白内障手術を受ける施設を選ぶ基準もある程度わかりますが、眼科関係者以外はなかなかわからないですね。そのあたりどう思いますか？

時澤 本真にそう思っています。普通は手術は腕のいい先生にお願いしたいって思いますが、そもそも、一般の方はどの先生が腕がいいかわからないですもんね。近所の方が手術を受けて良く見えるようになったからといって、一概にその執刀医の腕がいいという事は言えないですからね。

原田 そうですよ。手術後良く見えるようになるかどうかは、その人のもともとの眼の状態も大きく関係してきますからね。手術後見え方がイマイチだからといって、手術が失敗とも限らないですし、逆に元の眼の状態が良ければ、あまり手術が得意じゃない先生が手術をしても、すごく良く見えるようになるという事も沢山ありますからね。

萩原 正直手術室に入っていない私が見ても、どの先生が手術がお上手かはわからないかもしれません。そもそも、自分の事を「手術は苦手です！」と公言している先生はいるとも思えませんね。

医師の腕で施設を決められないとしたら、何を基準に決めたらいいのでしょうか？

時澤 一つの判断基準は、実績かなと思います。実績が多いのにも、少ないのにも理由がありますから。私だったら、いつでも予約ができる場所より、いつも混んでいて予約が取れず、実績が多い所のほうが安心してお願いできる気がします。

原田 私は口コミを参考にします。周りの人に聞くのが一番かと。ただ、白内障の場合は、さっきも話に出た通り、「良く見えるようになった」はあまり施設選びの参考にはならないので、純粋に「安心して任せられたか」という口コミが大事かと思っています。

萩原 私は患者様が手術室に入る前と出てこられた後の対応を担当させていただいていますが、すごく大切なポジションだと思ってやっております。手術は緊張しますし、患者様の心労は計り知れないと思っています。だからこそ、私達が少しでも患者様の緊張を和らげるよう精一杯心を尽くしたいと思っています。そういう心のケアを意識している施設かどうかは選ぶ基準にさせていただけたらいいのかなと思います。

いとう眼科の特徴はどんなところでしょう？

原田 説明だと思います。とにかく説明には力を入れています。私達が理念として掲げている「患者様の安心」の為に、説明は絶対的に必要です。そして、説明の先にある信頼です。「ここだったら任せたい」と思っただけのくらいの心ある説明を全スタッフが心がけています。

萩原 私は、心のケアだと思っています。患者様の安心のために、機械的なケアではなく、患者様の不安な気持ちに共感し、なんとか安心していただきたいと心に寄り添ったケアを全スタッフがやっている事です。その結果、手術を受けられた患者様とはすごく仲良くなるケースが多く、手術後に手を握り合って喜んだり、泣きながら感謝を言っただけの事も沢山あります。

時澤 私は、「総合力」だと思います。病院は業務内容も担当制のところが多く、手術をしていても全スタッフが関わらないところが多いと思います。ですが、いとう眼科は全スタッフが手術を意識して、自分には受付だから・・・とかではなく、全員で手術患者さんをケアしようという意識がすごく強いです。ですので、全スタッフが手術患者様の事を覚えています。当院は手術件数が非常に多いですが、全て院長が一人で執刀しています。院長は実績も豊富ですし、腕も素晴らしいです。是非私たちのチーム力、総合力を信頼していただきたいと思っています。



時澤えり子



原田さやか



萩原英美

ONE TEAM

私達はスタッフ全員で

白内障手術に向かっています

